



2025年12月17日

各 位

会 社 名 オイシックス・ラ・大地株式会社
代表者名 代表取締役社長 高島 宏平
(コード: 3182、東証プライム)
問合せ先 執行役員 CFO 中川 徹哉
(TEL. 03-6867-1149)

**当社株主による大量保有報告書（変更報告書）の提出及び主要株主の異動に関するお知らせ
～ 給食事業の成長加速に向けた、戦略的株主構成への転換 ～**

2025年12月17日付で当社の株主より、大量保有報告書及び大量保有報告書の変更報告書が関東財務局に提出されましたので、下記の通りお知らせいたします。また、本件にともない、当社の主要株主の異動がありましたので、あわせてお知らせいたします。

記

I. 当社株主による大量保有報告書（変更報告書）の提出

1. 本件の概要と戦略的意義

当社は、2030年の中長期目標達成に向け、食品宅配サービスを提供するBtoCサブスク事業、及び給食サービスを提供するBtoBサブスク事業を柱とした成長戦略を描いております。とりわけBtoBサブスク事業では、ロールアップ型M&Aを成長ドライバーと位置づけており、オーガニック成長との相乗効果により、売上高の持続的な成長と収益性の向上に努め、給食業界におけるトップティア入りを目指しています。

また、2025年に入り、キャピタルアロケーションや株主還元方針を含む資本政策の公表に加え、コア事業に注力するための経営資源の最適化、及び財務体質及び資本効率の改善を目的とした子会社再編などの経営改革を積極的に進めております。

今般、長きにわたり当社の事業成長を支援いただいた株式会社リクルート（以下「リクルート」といいます。）が保有する当社株式の一部について、資本政策の観点から円滑な譲渡を実施いただくと同時に、その受け皿として、中長期的な企業価値向上に資する質の高い投資家であるGrantham, Mayo, Van Otterloo & Co. LLC（以下「GMO LLC」といいます。）が新たに当社の大株主となります。

機関投資分野における世界的リーダーの一社であり、長期的な価値評価と質重視の投資哲学で知られている GMO LLC を新たに大株主として迎えることは、当社が資本市場との対話をより一層深化させ、これまで以上に資本市場の視点を取り入れた経営規律の強化を図るとともに、経営へのコミットメントを明確に示す一助となるものです。

今後も、国内外の投資家を含む資本市場関係者との建設的な対話を継続し、企業価値の最大化に向けた取り組みを推進してまいります。

大株主となる GMO LLC の日本株責任者 Drew Edwards 氏のコメントは以下の通りです。

GMO Usonian チームは 2000 年代後半より、不当に割安な株価で取引されている質が高い日本企業への投資を継続しています。オイシックス・ラ・大地はその好例であり、独自のサブスクリプションモデル、プレミアム食品市場における卓越したブランド力、そして優れたオペレーション能力を有しています。これらの強みは、同社が日本の BtoC 食事サービス業界のみならず BtoB 食事サービス業界の統合を推進する上で強力な優位性となると確信しています。

当社は、オイシックス・ラ・大地の卓越した経営陣が掲げる中長期の方針である、国内食事サービス業界の戦略的統合による成長加速と、魅力的なオーガニック成長軌道の拡大を支援できることを光栄に思います。また、経営陣の規律ある改革、戦略性のある資本配分方針、中核事業へのリソース最適化に対する継続的な注力も高く評価しています。

オイシックス・ラ・大地は、拡張可能な事業モデルとサプライチェーン能力を通じて、構造的な労働力不足や持続的な食品インフレといった日本の食事サービス業界が直面する主要課題の解決に貢献できる極めて有利な立場にあり、中長期的に株主および広範なステークホルダーへの本質的かつ継続的な価値創出ができる存在だと認識しています。

GMO は、オイシックス・ラ・大地がミッションを推進し、全てのステークホルダーへのさらなる価値創出を図る中で、建設的な長期的パートナーシップを築けることを大変楽しみにしています。

本件について、当社 CFO 中川のコメントは以下の通りです。

長きにわたり当社の成長を支えていただいたリクルート社に感謝申し上げるとともに、引き続き大株主の 1 社としてご支援いただけますことを心強く存じます。またこの度、GMO 社を新たに大株主の 1 社としてお迎えできることを光栄に思います。

本件は、当社が資本市場との対話をより一層深化させ、資本市場の視点を取り入れた経営へと進化させる良い機会と考えております。投資家の皆様の貴重な知見やご提言を経営の推進力へと変え、皆様の期待を超える企業価値の創出に邁進してまいります。

本件後も、リクルートは自己株式を除く発行済株式総数の約 3%を保有する大株主としての地位を維持いたします。また、GMO LLC は約 10%を保有する大株主となります。

リクルートより提出された大量保有報告書の変更報告書及び、GMO LLC により提出された大量保有報告書の概要については以下の通りです。

【リクルート：大量保有報告書の変更報告書】

(1) 提出者 の 名 称	株式会社リクルート
(2) 本店 所在地	東京都千代田区丸の内一丁目 9 番 2 号
(3) 提出事由	株券等保有割合が 1%以上減少したこと
(4) 株式の譲渡年月日	2025 年 12 月 16 日
(5) 株式保有数	1,000,000 株

【GMO LLC：大量保有報告書】

(1) 提出者 の 名 称	Grantham, Mayo, Van Otterloo & Co. LLC
(2) 本店 所在地	53 State Street, Suite3300, Boston, Massachusetts 02109, U.S.A.
(3) 提出事由	-
(4) 株式の譲渡年月日	2025 年 12 月 16 日
(5) 株式保有数	3,528,200 株

(注) 上記は、当該株主より提出された大量保有報告書（変更報告書）に基づくものです。

II. 主要株主の異動

1. 異動が生じた経緯

2025年12月17日付で、以下の株主より大量保有報告書が関東財務局に提出されたことにより、主要株主の異動を確認いたしました。

2. 異動した株主の概要

(1) 名 称	Grantham, Mayo, Van Otterloo & Co. LLC
(2) 所 在 地	53 State Street, Suite3300, Boston, Massachusetts 02109, U.S.A.
(3) 代表者の役職・氏名	フィリップ・ザコス (Philip Zachos) ジェネラル・カウンセル (General Counsel)
(4) 事 業 内 容	投資顧問業

3. 異動前後における当該株主の所有する議決権の数（所有株式数）及び総株主の議決権の数に対する割合

	議決権の数 (所有株式数)	総株主の議決権 の数に対する割合	大株主順位
異 動 前	18,802 個 (1,880,200 株)	5.42%	—
異 動 後 (2025年12月17日現在)	35,282 個 (3,528,200 株)	10.17%	—

(注1) 総株主の議決権の数に対する割合は、2025年9月30日現在の発行済株式総数37,960,000株から議決権を有しない株式数3,276,000株を控除した総株主の議決権の数346,840個に基づき算出しております。

(注2) 総株主の議決権の数に対する割合については、小数点以下第3位を切り捨てております。

(注3) 上記については、当該株主より提出された大量保有報告書（変更報告書）に基づくものであり、当社として当該株主名義の実質所有株式数が確認されたものではありません。そのため、大株主順位は記載しておりません。

(注4) 発行済株式総数を分母として算出される株式保有割合は、異動前時点において5%を超過しておらず、大量保有報告書は提出されていないものと認識しております。

4. 異動年月日

2025年12月16日

5. 今後の見通し

本件による当社の2026年3月期の業績への影響は軽微ですが、優良な機関投資家の参画は、中長期的な当社の企業価値向上および株式市場での評価改善に大きく資するものと考えております。